

小平市事業企画委員会委員 各位

公民館 大沼公民館

氏名 岩川 妙子

公民館運営審議会の自主研修会にご参加いただきありがとうございました。  
下記のアンケートにお答えいただければ幸いです。問題点や課題がより鮮明になり改善への足掛かりとなると思います。よろしく願いいたします。

- ① 悩み・要望等をお聞かせください。
  - ・大沼公民館では、3期目を迎え、委員の人選・選出が大変になっている。公民館利用者による要望を取り入れた企画がニーズに合っているかと思うが、高齢者には、特にネットが必須の現状では、より負担感が大きい様子。また、自身も学校関係者として参加しているため、後任者がおらず、いつまで続けるべきか悩む。
  
- ② 1年間に1度はこのような研修会を必要としますか。
  - ・公運審委員にとって、今回のように各館の事業企画委員から直接、意見や課題を聞くような研修会は必要かと思う。しかし、事業企画委員にとっては、各館の委員（希望者全て）や職員の方々の情報や意見交換をして、他館での会議の様子などが知れる会の方が必要と思う。
  
- ③ 事業企画委員会委員の人選についてどう思いますか。
  - ・今回の人選では、前のメンバーでの会議にて、新たに声かけしてほしい関係団体や人材の候補をあげてもらおう。また、退任する際は後任者をあげてもらおう、などの対策で新規委員になってもらった。しかし、会議時間帯を早めざるを得ない状況となり、参加が難しい欠席者が何人もいるとスムーズに進められない。
  
- ④ 公民館運営審議会に要望等ありますか。
  - ・公運審各委員は、様々な立場から時間的に厳しいかもしれないが、是非何館かの事業企画委員会に直接オブザーバーとして参加していただきたい。そして、そこで感じた意見などを館職員に伝えてもらい、より良い会議の進め方に反映したいと思う。そして、公運審委員退任後は、可能な限り事業企画委員として、その知識や学んだことを各館の活発な活動推進の為に活かしてほしい。

その他ご自由に記入してください。

○講座から「サークル化」するためには、という議題について

・企画した講座全てを「サークル化」を目指すのはやはり難しいので、そのうちの1・2本は企画段階から明確化して、募集をする際にも申込者に伝えた上で受け付けるなども必要なのではないか。さらに、職員によるサポートは不可欠。

・一方、「サークル化」を目的ではなく、今まで公民館を利用したことがない年代の層（高齢者、働き盛りの男女や中高大学生など）に興味を持ってもらえるような、参加しやすい講座内容（単発が多いかもしれないが）の企画も重要とすべき。そのためには、募集の仕方や受講方法などもネットを駆使するなどの新しい工夫が必要。

・ただし、「サークル化」を避けたがる理由として、館の利用者懇談会（友の会）への加入や役員に対する煩わしさ、おまつりへの協力の負担感があり、単純にメンバーと活動を楽しみたいという参加者からは難色を示されてしまうことも多いのが現状。